

細則様式第 4 号

論文審査及び最終試験結果報告書			
氏名	三浦 利彦		
入学年度	平成26年度	学籍番号	14GG608
領域	健康支援科学	分野	障害保健学
審査委員	主査	石川 玲	
	副査	門前 暁	
	副査	尾田 敦	
	副査	高見 彰淑	

論文題目：

Duchenne 型筋ジストロフィーにおける機械による咳介助 (MI-E) の最適な使用条件の検討と効果

審査結果要旨：

本研究は、Duchenne 型筋ジストロフィー (DMD) 入院患者を対象に、機械による咳介助 (MI-E) の適切な使用条件と咳機能に与える影響、並びに非侵襲的人工呼吸 (NPPV) と MI-E の併用による経口摂取と呼吸器合併症の発症における長期効果を検証したものである。国内外で使用されている MI-E 機器の圧設定は±40cmH₂O の範囲とされているが、陽圧・陰圧ともにさらに大きな圧を要する症例もあり、今回、圧設定を±55cmH₂O としても MI-E による咳介助を安全・効果的に行うことができることを実証した。これは国内外の MI-E の臨床で有益な新しい知見である。また、長期効果として、申請者の勤務する施設において NPPV と MI-E を併用して以降、呼吸器合併症を予防し安全に経口摂取を継続できており、特に経口摂取の継続期間は MI-E が併用されていない DMD 患者を対象とした全国調査結果よりも延長しており、NPPV と MI-E の併用により今後さらに DMD 患者の生命予後と QOL の改善に寄与できる可能性が示された。

学位審査論文及び審査会での発表および質疑応答を通して、申請者が本研究の新規性、意義、重要性を十分理解しており、高い研究遂行能力と倫理観を身につけていることが審査員に十分に伝わった。

従って上記審査員は、本論文が博士 (保健学) の学位授与に値する水準に達していると判断した。

最終試験 平成 29 年 2 月 1 日

試験の結果は 合格 ・ 不合格 と判定する。